



<COPY>

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 260

Governor's Monthly Letter

No. **5** 15. OCT. '79
第5信
昭和54年10月15日

GOVERNOR TAMOTSU KAWASE

Office: 7th Fl., Daiei Bldg., 1-11-20, Nishiki, Naka-ku, Nagoya, Japan 460 Tel. (052) 211-4415

国際ロータリー第260地区 ガバナー 川瀬 保

事務所 〒460 名古屋市中区錦1-11-20 大永ビル7階 電話(052) 211-4415



“Let Service Light The Way”

奉仕の^ひ灯で道を照らそう



第260地区各ロータリークラブ会長、幹事殿

★友情の輪、豊橋に拡がる！

*A large circle of “Friendship” spreaded over our
successful Conference at Toyohashi City!*



歓迎の辞を述べた後、ミーンズR.I.会長代理に固い握手をかわす川瀬ガバナーと大会会場内部全景

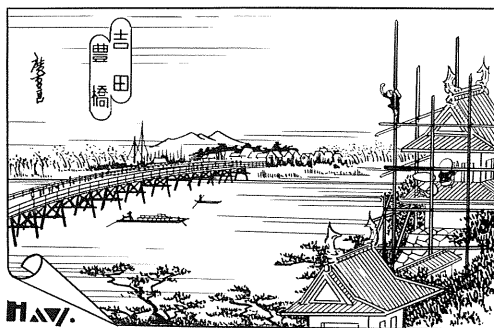
年次大会

について

Reports of our
Annual Conference.



豊橋市章



1979年国際ロータリー第260地区年次大会は10月6日・7日豊橋に於て盛大に開かれた。日程は、5日R.I.会長代理ご夫妻歓迎晩さん会からはじまり、6日の部門別協議会と各委員会及前夜晩さん会、7日の本会議、これにつづいて8日の記念ゴルフ会と多彩なプログラムであった。

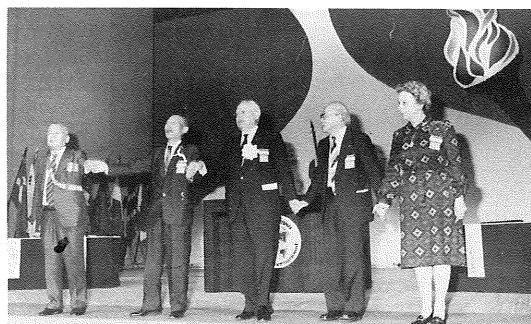
今回は特に、R.I.会長代理として、前R.I.事務総長のジョージR.ミーンズ氏ご夫妻が来られたことが特筆すべきことであった。ミーンズ氏はホストである豊橋北R.C.の認証状にサインした縁もあり、戦後日本のロータリー復興に絶大な協力援助した親日家でもある。



雨の大会々場正面

本会議は、7日午前9時の予定を、雨で交通渋滞のため10分遅らせて開始、点鐘に続いて開会宣言、国歌斉唱、Rソング奉仕の理想のあと、佐藤大会委員長が「雨にもかかわらず、2,200人と云う多数の参加をいただき開催できたことをうれしく思う」とあいさつ、続いて川瀬Gが「朝起きたら外は雨だった、この時まさきに思い浮べたのは『雨雨降れ降れ母さんが……』の童話であったが、ロータリアンは天気であれ雨であれ、胸の底はサー

ビス精神と奉仕の理想に燃えているものである。世界中どんな問題があろうと、われわれロータリアンは、この精神を忘れず進んでいかなければならない。また今回の年次大会にあたっては、佐藤大会委員長以下、豊橋北R.C.の方々が、今日の大会のために、誠実友情の精神でもって努力され、立派な大会を開かれたことを感謝する」と述べるなど、大会にふさわしい盛り上りをみせていた。また、R.I.会長代理ミーンズ氏が会長メッセージを述べたが、この中でミーンズ氏は、ロータリーの友情をテーマに「今年はR.I.創立75周年を迎え、また同時に日本のロータリーも60周年という意義のある年にあたる。私たちロータリアンはこの歴史をかみしめ、さらに『奉仕の灯で道を照らす』よう努力していかなければならない。私たち一人一人がこの精神で友情を広め、一層努力するならば、さらに大きな業績を上げ、新たに高みに立つことができるであろう。さらに友情の輪を広げ奉仕の精神を発



大会閉会のお別れの唄

揮して、ロータリーの灯を高く掲げようとあいさつした。さらに来賓を代表して仲谷愛知県知事、青木豊橋市長が「この大会を契機に、

さらにR精神を発揮し“第260地区ここにあり”と胸を張って云えるよう頑張っているのを祝辞を述べられた。

後各委員会報告、交換学生紹介、部門別協議会報告、優秀クラブ表彰等で午前の部を終り、休憩の後、豊橋宝生会による舞囃子“竹生島”を観賞、メンバーにシテ森P G、地謡佐藤大会委員長等地元の多数のロータリアンが参加しての舞台、これにからめて作曲家黛敏郎氏の“日本の美と心”と題する格調高い



R.I.会長代理 講 評

*Comments on our
Conference.*

ボーマー会長の代理としてこの地区大会に参加いたしました。以前よりガバナーからお手紙を頂き、この地区が立派な地区であることを知っていました。最初の印象は皆さんが大変熱心で、そしてよくロータリーを理解しているということです。ロータリーは大変強いものでありますが、ロータリーが強いというのはロータリーの組織が強いのではなく、ロータリアン一人一人の強さであります。そしてこの地域において非常に強い力をロータリーは持っているものであり、それがよく表現されていることを私は昨日発見しました。

昨晩は歓迎パーティーで大変温かい友情を満喫したのですが、今日午前中私はここで貧血を起し、その時に森さんを始めとする多くのロータリアンのお医者さんに手厚いご看病を得、10分間で元に戻ることができました。この友情というものを私は深く感じている次第です。私はマーサと方々へ旅行してきましたが、当地での友情が一番感銘を受けた生涯この好意を忘れません。来年の大会が天国へゆけるお寺のある所で開催されるとのお話を只今知りましたが楽しみですネ！

記念講演があった。この終りに舞台は豊橋交響楽団180名の演奏でしめくくった。

続いて次期開催地長野東R.C.の紹介があり次に午前中一寸体調を悪くして休んでいたミーンズ氏が、現況報告を10分すると通告されてきたが、いざステージに上ると調子が出て、堂々25分のスピーチをされた。最後にRソング「我等の生業」を唱いあげ、年次大会らしい雰囲気終始、午後4時点鐘で幕を閉じた。

川瀬ガバナー謝辞



*Words of thanks
for Mr. and Mrs. Means,
for the host club and for
our all members.*

素晴らしい充実した熱気溢れる地区大会でした。何度も申しますが、戦后日本ロータリー再建の恩人ミーンズ氏ご夫妻をお迎えしたこと、ホストとしてこの1年間を運営のために献身して下さった佐藤委員長以下、豊橋北R.C.の皆様方、それにわが260地区の会員並びにご婦人方の参加にお礼を申し上げます。

ご案内の通りロータリーの役は1年限りでありますが、まだ私共は3ヶ月しかたっておりません。あと9ヶ月残っております。もし来年7月1日に今年の7月1日に受け継いだままで何んらの進歩もなく来年のお役の方々にお渡しするのであるならば、我々はもうその時点でロータリアンを辞退しなければならないと思うのです。どういう結果が出るか解りませんが、誠心誠意でどうか分区代理さん始めとする各R.C.の皆様と共にボーマー会長の云っている“奉仕の灯で道を照らす”活動を実践して来年7月1日を迎えることができるようにここで皆さんと一緒に誓いたいと思います。何卒よろしく願いいたします。

大会決議 次期開催地は長野市に!

Resolutions of the 1979-80 Annual Conference of D.260

安野議次決議委員会委員長は委員会によって審議された決議案を説明、川瀬ガバナーがこれを大会にはかり、次期大会開催地を長野にすること等8項目の決議を満場一致で行った。

- 決議1号 R.I.会長代理ジョージR.ミーンズ氏に対する感謝の件
- 決議2号 直前地区ガバナー田辺三郎氏に対する感謝の件
- 決議3号 R.I.会長ジェームスL.ボーマーJr.氏のメッセージを支持する件

- 決議4号 ホストクラブ並びに協力諸団体に対する感謝の件
- 決議5号 1979~80年度に催されるR.I.創立75周年の記念事業に協力する件
- 決議6号 1980年度国際大会に参加協力する件
- 決議7号 1979年第260地区年次大会開催地に対して記念事業費贈呈の件
- 決議8号 1980年地区年次大会を長野市で開き長野東R.C.をホストとする件



ガバナー・ ノミニーに 北野幾造君!

Mr. Ikuzo Kitano was
appointed the Governor
Nominee the next year.

略 歴

昭和2年8月21日生 長野県出身
昭和29年3月 日本大学理工学部建築学科卒業
昭和29年4月 北野建設株式会社に入社、常務取締役、専務取締役を経て、昭和38年副社長に就任し現在に至る。
現 在 (株)旭エージェンシー取締役社長、ニューヨーク・ホテル・キタノ、北野海外建設(株)、北野合同建物(株)、木曾カントリー(株)、



大会において指名された瞬間のご夫妻

(法)上田女子短大、(勸)北野美術館等の役員、(社)日本経営者団体連盟常任理事、(社)長野経営者協会副会長、(社)日本建築士会連合会副会長、(社)長野県建築士会会長、長野県産業教育振興会会長、長野音楽文化協会会長、(勸)長野県建築安全協会会長、長野県開発審査会会長

ロータリー歴

1968年1月16日 長野R.C.入会
1972~73年度 長野R.C.幹事
1974~75年度 長野R.C.会長
1977年11月 ポール・ハリス・フェロー
1978~79年度 第260地区長野アディショナルクラブ(須坂R.C.)設立のための特別代表

《こぼれ話あれこれ》

*Episodes in our grand
Conference.*

○「ジョージ個人の力が大自然を支配して、雲にかくれた十五夜の満月も、ハッキリ姿を見せることになりました。」——歓迎晩さん会川瀬ガバナーのことば

○10月6日午前、ミーンズ夫人とバストガバナーご夫人達は、森バストガバナー宅のお庭で野点茶会。終了するまで雨も遠慮。これもミーンズ氏の念力作用か？

○「私は英語以外は分らないが、通訳はどうも私の云っていること以外に何か語っているようだ。これも大へん楽しいことの一つです」——前夜晩さん会でミーンズ会長代理

○R.I.会長代理のメッセージは30分余にわたって続いたが、天井からのライトが強すぎたためかミーンズ氏は気分を損ねる。早速舞台裏へ下って医師団の厚い手当をうけ10分位で回復。「世界を旅して、これ程暖かい好意と友情を深く感じ、印象に残ったことははじめてだ」と語る。

○会長代理休憩中、記念品の贈呈をミーンズ夫人が代って受けられたが、好意と深い友情に感激してか、目頭に光るものが見うけられた。

○当日衆議院議員選挙の投票日。大会準備で多忙なホストクラブの諸君は中々時間が無い。そこで不在者投票を選挙管理委員会に相談したら、投票区域外で仕事をするのではないからノーと結論。従って早朝や終了後に善意の工夫をこらして義務遂行。

○黛敏郎氏の格調高い講演。会員達による能楽。地元の皆さんが育てた豊橋交響楽団の演奏など、この大会は豊橋文化の象徴のように感じました。——某バストガバナー

○南は太平洋、北は赤石山脈、海の幸、山の幸で大変美味しい弁当をいただきました。若い人には一寸ご飯が少なかったかな。——長野R.C.会員

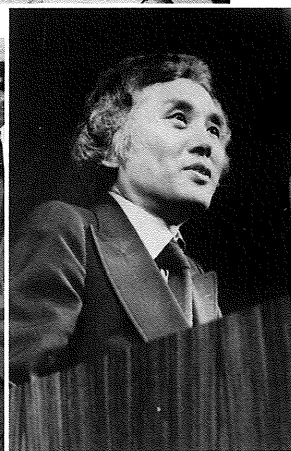
○ミーンズ氏が豊橋を離れる時「こんなにあ

たたかい歓迎をうけて感激した、もう一度豊橋へ来たい」と云われた。佐藤大会委員長はご夫人に「ご主人がいつまでも健康であるように時々ホリディをつくってあげて下さい」と云って固い握手を交わした。

歌手、大津美子と唄うガバナー夫妻↓

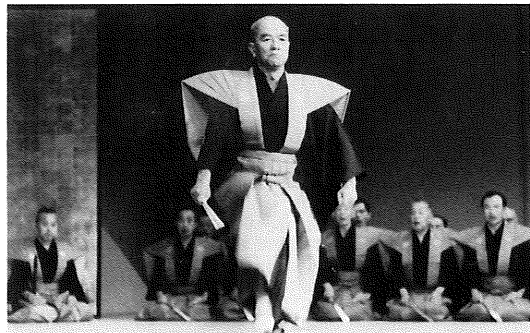


↓雨の為、傘をビニール袋に入れる夫人達



記念講演、黛氏↑

↓大会午後の部「能」



↓森バストガバナー宅、野点



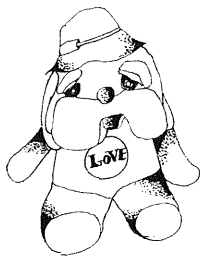
THE GENERAL SECRETARY'S LETTER

事務総長書翰

ハーバート・A・ピッグマン



去る7月17日、ボーマー会長は、東南アジアの逃難者達へ「命綱」を投じ、新しい地域社会での安住を援助するように全クラブへ訴えられました。会長の要請の手紙と、ロータリー・クラブが協力できる難民救済機関についてのインフォメーションを米国及びカナダの全クラブへ発送し、避難民を受け入れている国々のクラブへも、手紙が発送されつゝあります。会長イレクト、ロルフJ.クレイリッヒ氏は、スイスのジュネーブで開かれた「東南アジアの難民と国外追放等の問題」に関する国連会議に出席され、その報告で、難民救済機関に対するロータリーの協力、殊に「避難所を設置して就職を援助する」面での協力の必要を強調しておられます。難民救済機関の一つによりますと、ロータリー・クラブは、多様な職種を代表する会員をもって構成されており、難民の人達が新しい生活の道を切り開くのに必要な援助を提供できる理想的なスポンサー・グループであると評しています。そして、この頃では、毎日のように、世界各地におけるロータリーによる救援活動の報告が届いております。マカチ・ロータリー・クラブではフィリピンにある難民キャンプへ特別な救援活動をし、米国インディアナ州のバーンでは10人の難民家族を援助し、難民救済事業のためにフランス赤十字社へ多額の資金が贈呈さ



れ、オーストリア、ドイツ共和国及びオーストラリアでは地区委員会が設置されています。ボーマー会長が記者会見で指摘された、人類の悲劇は、各所の難民キャンプの悲惨な状態の中で繰り返えされています。タイ国の1パストガバナーからの報告によりますと、インドシナ系の難民は、タイ国に17万人、マレーシアに5万人、香港に5万人、インドネシアに2万人、シンガポールに2千人、合わせて東南アジアだけでも、292,000人にのぼるそうです。「約3万の“船上の人達”」は、東南アジア諸国の岸にたどり着く前に、海上で、命を奪われたものと思われる」とそのパストガバナーは報告しておられます。米、塩、魚、医薬類を購入する資金が必要です。けれど、人間として生き抜くために不可欠な要素の中には希望が含まれます。そして、希望はロータリアンが提供し得るものの一つです。何が必要かと言えば、各クラブにおいて、救援に乗り出すべく、ロータリアンを励まし、難民受け入れの仕事を引き受けるリーダーであります。ロータリアンの関心と思いやりの精神が有形の救援活動となって、難民救済の手がさし伸べられることには相違ありませんが、その救援活動が必要なのは、今なのであります。

3-Hプログラム、財団活動となる

保健、飢餓追放、人間性尊重プログラムは、去る8月、国際ロータリー理事会とロータリー財団管理委員会との合意成立の結果、ロータリー財団活動の一部門となりました。「保

健、飢餓追放、人間性尊重プログラムのための補助金」と名付けられ、教育補助金、研究グループ交換補助金、特別補助金に加わる財団活動の第4の部門となります。財団は、国際ロータリーによって開発され、運営される事業に対して補助金を授与することになります。財団管理委員会がこの補助金に使用できるのは「保健、飢餓追放、人間性尊重プログラム開発のための75周年記念基金」として寄附された基金であります。7月30日現在、この基金は、\$1,766,356.50に達しています。この決定が殊のほか重要なのは、ロータリー財団への寄附が所得税の課税金額から控除できる国々では、3-H基金への寄附も控除できることになった点です。更には、3-Hプログラムへの寄附額には課税控除の恩典が与えられたことにより、製薬会社などからの3-Hプログラムに対するワクチン剤やその他の医薬品類の寄附を奨励できることにもなりました。

財団記録を更新

1978～79年度におけるロータリー財団への寄附金額は、米貨1,520万ドルを超え、前年度の1,190万ドルに比し、27.5%の増加を記録しました。昨ロータリー年度のポール・ハリス・フェロー数は、10,828名です。

ザ・ロータリアンの購読料

1980年1月1日をもって、ザ・ロータリアン誌の年間購読料が、アメリカ合衆国では、\$5.50、その他の国々ではU.S.\$6.00に増額されます。

75周年記念奉仕活動賞の賞状

新しく作成された、75周年記念奉仕活動賞の賞状をもって、全地区ガバナーは、75周年記念の年度における各ロータリー・クラブの奉仕の業績を表彰することができるようになりました。賞状は、英語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、ポルトガル語、スペイン語、及びスウェーデン語の各国語で作成されます。本賞を受領できる貴地区内のクラブの数に制限はありません。

各地区ガバナーが、それぞれに、各自の地区にて、本賞の受賞資格、そして、本賞を受けるための申請方法を決めて下さい。本賞の目的は奉仕を奨励し、表彰することにあります。75周年記念奉仕活動賞の賞状は、受賞奉仕活動の簡単な説明書を添えて、中央事務局へお申込み下されば、何枚でもお送りいたします。尚、卓越したクラブ活動については、地区ガバナーは、詳細な資料、特に写真を添えて提出し、75周年記念の広報に関するR.I.の出版物に掲載、使用できるように、お取り計らい下さるよう奨励されております。

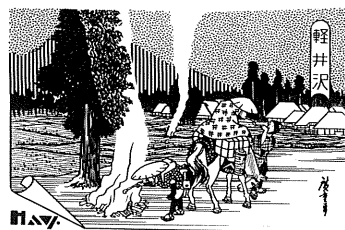
洪水罹災者の救済

去る8月11日、インド西北部、モルヴィ市近くのダムが崩壊し、同市は、もとより、下流の農村一帯を崩壊し、多数の死者を出し、莫大な損害を与えました。罹災者の救済、伝染病の発生を阻止し、同地域の復旧を助けるための早急な救援が要望されております。就きましては、このインフォメーションを直ちに、貴地区内全クラブへご伝達願います。救援資金は「第305地区への災害救援資金」として、国際ロータリーを通じ、送金することができます。その他の救援物資は、既設の国際救済機関を通じてお送りになって下さい。

11月公式訪問日程

Schedule of Official Visits in November

1日(木)	豊橋	16日(金)	飯田南
2日(金)	名古屋港	21日(水)	稲沢
5日(月)	軽井沢	22日(木)	岡崎東
6日(火)	長野	24日(土)	奥三河
8日(木)	松川	26日(月)	あま
14日(水)	飯田	30日(金)	岡崎南
15日(木)	名古屋西		



Fellowship spreaded furiously
throughout Asia at our Regional
Conference in Seoul

アジア地域大会に 参加して

長苗克彦(名古屋南)



1979年アジア地域大会は天候にもめぐまれて、9月21日～23日の3日間に涉って、ソウルの世宗文化会館において“アジアは未来の打つ太鼓の音に合せて行進する”の大会テーマの下に開かれた。

アジア20余ヶ国より約9,000人の参加登録者とボーマーR.I.会長ご夫妻を初めとする多数の来賓と招待者の参加でにぎわしくも荘厳なうちに進められ、R.I.会長メッセージ、R.I.現況報告ならびにボーマー会長の講演“アジア—ロータリー奉仕の活力に充ちた冒険”は会場をうめ尽くした数千人に及ぶわれわれロータリアンにこの上なく深い感銘を与えるものであった。

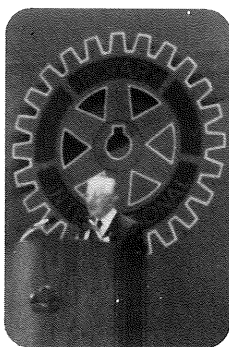
又、前夜の開会式における大韓民国国立舞



踊団の出演によるけんらん豪華な古典と現代の音楽と舞踊の混成公演は異国における旅の疲れをいやしてくれた。

次に、プラザホテルで開かれた366地区-260地区ロータリアン親睦の夕べは最初の予想をはるかに上回る350人(260地区250人、366地区100人)の参加者で会場はあふれるばかりの盛況であり、川瀬G、森PG、山田PG、田辺PGの姿も見うけられ、夕べを一層楽しく親しいものにさせた。これも準備のために東奔西走してくれた下郷、水野両氏の努力のたまものであり、今後、このような地区組み合わせ活動は他地区に先鞭をつけるものとなるであろう。

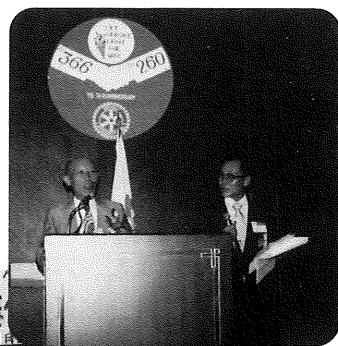
最後に大会運営に努力し、アジアの地に友情と善意の花を咲かせてくれた韓国ロータリアンの皆様に感謝をする次第である。



1



2



3

- 1 講演するボーマーR.I. 会長
- 2 大会会場となった世宗文化会館前
- 3 東豆川インターラットクラブプラスバンドの演奏
- 4 親睦の夕べであいさつをする川瀬ガバナー
- 5 関係者一同で舞台をバックに記念撮影



5

翔んで翔んで拡がる 530運動

Clean Campaign
begun in Toyohashi
City is now
spreading throughout
Japan

環境保全委員長
野沢東三郎



国栄えて山河なし、之は大変含蓄のある表現だと思う。

昭和50年7月に発足し、来年5周年を迎える530運動は豊橋をスタート点とし全国各地に飛び火し、全市的な活動に発展している都市だけでも東三河各市をはじめ常滑、犬山、安城、刈谷、飯田、焼津、岐阜、高崎など20余に及び600万人近い人たちがこの運動に参加している。また、ロータリー関係では260地区の

75%、地区外では25クラブ以上がこの運動を推進している。

このような草の根運動の530運動はこれまで口コミによって拡がりを見せていたが、こんどはマスコミによって大きく取り上げられ、今以上に北は東北から南は九州へと全国運動へ発展しようとしている。

このようにマスコミの世界を通じて全国へ伸びようとしている530運動は豊橋市においては5月30日の530実践活動の日と11月11日の市民の日には全市民が出勤してゴミの一掃につくしている。

最後に今日までこの運動がもりあがりを見せてきたのは歴代ガバナーや歴代P Gの御支援と、かつ、豊橋、豊橋北、豊橋南他各R.C.の厚い御協力のおかげであることに深謝する次第である。

ボーマーさんを 囲んで3時間

国際ロータリー第260地区
ガバナー
川瀬保



Mr. and Mrs.
Bomar were
warmly welcomed
at Osaka

R.I.会長ジェームスL.ボーマーJr.さんと令夫人エデイスさんは、ソウルでのアジア地域大会の後、まつ福岡での歓迎懇談会に臨み、続いてわが関西、中部地区の歓迎懇談会に臨席せられた。ボーマーさんの日程は極めてタイトであり、9月24日福岡、25日大阪、26日仙台、27日東京と1日刻みに日本中を廻って、28日にはマニラへ。誠に以て恐れ入った強行軍である。大阪の懇談会はロイヤルホテルで行なわれた。来賓としてR.I.会長補佐ケラー氏夫妻その他、また参加地域のガバナー、ガバナーノミニ等。一般参加者は参加7地区並びに台北北クラブからの来客等四百数十名に及び非常な盛会であった。

ボーマーさんの講演は、その内容は固より、

声量、ゼスチュア等すばらしいものであり、文字通り満堂を魅了した。

宴に入ってからの主役はボーマー夫人であった。夫人が音楽学校出身であることを嗅ぎつけたSAAが突然願ひ出た所、夫人は快く受けてピアノをひきながら、すばらしいソプラノ独唱。ボーマーさんは、夫人が歌い終ったピアノから離れるとすばやく立ちよって夫人を抱き、頬に接ふんした。誠にほほえましくも楽しい情景であった。

宴がもり上り、予定時間を大きく超過した。私たち夫婦は、新幹線最終便で名古屋に帰った。

常務理事会並びに理事会決議事項のお知らせ

Reports of the Board of Directors for Yoneyama Memorial Fund

去る8月30日、当米山奨学会の第1回役員会が開かれましたが、主なものを以下ご紹介いたします。

1. 昭和55年度募集人員

昭和55年4月より10名増員し、260名となります。

2. 米山奨学事業の活動費を各地区に配分

学生1名につき、年間2万円の活動費が支給される事になりました。地区理事の管理下で学生の相互理解、親善の費用に当てる事になりました。

3. 米山協力者制度及び米山功労者略章の制定

功労者には美しい金メダルが贈られますが、さらに略章を制定し、併用する事になりました。

4. 普通・特別寄付累計額が1,000万円に達したクラブに感謝状を贈呈

尚、15万円の特別寄付者は米山協力者となります。

5. 免税証明書の発行

個人の特別寄付金については昭和53年10月より向こう2年間、免税措置が適用されますが、適用のための個人特別領収証が奨学会事務局より送られます。

地区ニュース DISTRICT NEWS

■認証状伝達式参加のご案内

今般、当地区におきまして須坂R.C.と岩倉R.C.が新しく国際ロータリーに加盟し認証される運びになりました。下記により認証伝達式を挙行することになりましたので出来るだけたくさんの皆様の参加をお願いいたします。

第260地区須坂ロータリークラブ(長野県)

特別代表 北野幾造

会 長 佐藤久夫

日 時 昭和54年11月10日(土)

登録受付 11:30~13:00(軽食の用意あり)

式 典 13:10~14:40(終了解散)

場 所 須坂市公民館

登 録 料 会員5,000円 ご家族3,000円

第260地区岩倉ロータリークラブ(愛知県)

特別代表 中村 熙

会 長 仁木 暢

日 時 昭和54年11月17日(土)

登録受付 10:00~11:30(食事の用意あり)

式 典 12:00~13:30

友愛の広場 10:00~12:00

場 所 名古屋観光ホテル

登 録 料 会員10,000円 同伴者10,000円

■規定審議会出席の地区のクラブ代表者決定

1980年規定審議会に出席する260地区代表議員は地区大会に於いて選挙されました。

代表議員 バストガバナー 鮎谷賢太郎

補欠議員 バストガバナー 田辺 三郎

○75周年委員会

日 時 9月4日(火)

場 所 ガバナー事務所

出席者 水野民也、下郷弥太郎、

浅野甚七、島 恒治、

石井武夫

議 題

1. 75周年記念事業について

○第2回分区代理会議

日 時 9月14日 11:30~14:30

場 所 ホテルニューナゴヤ

出席者 余語(尾張第一) 鈴木(尾張第二) 柴田

(三河第一) 野々山(三河第二) 高木(南

信第一) 中山(南信第二) 工藤(東北信)
の各分区代理、川瀬ガバナー、福
山地区幹事

議 題

1. 地区大会について
2. I.G.F.開催について
3. クラブ拡大について

特別代表任命

岩田玖也(名古屋南) 名古屋市熱田、
瑞穂地区

田中益穂(松本西南) 長野県塩尻地区

○第3回地区諮問委員会

日 時 10月5日(金) 16:00~17:00

場 所 豊橋グランドホテル

出席者 神野PG、近藤PG、佐藤PG、
安野PG、原PG、鮎谷PG、
山田PG、森PG、藤原PG、
田辺PG、川瀬ガバナー、北野ガ
バナーノミニー候補

議 題

1. 地区大会について
2. ボーマー会長大阪歓迎会報告
3. 1981年度地区大会および地区協議会
の候補地選定について
4. 規定審議会に対する当地区クラブ代
表議員および補欠議員について
5. 75周年記念事業について
6. その他
7. 次回開催日について

○社会奉仕委員会

日 時 10月5日(金) 12:00~14:00

場 所 豊橋グランドホテル

出席者 原PG、野沢東三郎、久保田元次、
墨 末芳、橋本義雄、奥谷博俊

議 題

1. 環境保全ー 530運動の現況と今後の
進め方に対して
2. 保 健ー国際児童年にあたり青少年
の保健に対して
3. 3H運動の取り組み方について

米山奨学会特別寄付報告

Contribution to Yoneyama Memorial Fund

8月2日	大町R.C.	107,438円
10日	1名(名古屋東)	30,000円
17日	4名(豊橋)	110,000円
18日	8名(名古屋空港)	240,000円
21日	岡崎R.C.	57,000円
23日	早川弘三君(岡崎南) 米山功労者	140,000円
24日	1名(名古屋北)	100,000円

おめでとうございます
ポール・ハリス・フェロー
New Paul Harris Fellows

8月22日	○大島 国 弥君(飯 田)	○佐々木邦雄君(東 海)
8月31日	○高見沢英治君(松 川)	○矢 島 祥 亮君(箕 輪)
9月4日	○松 山 邦 夫君(大 山)	○松 井 伊 作君(刈 谷)
	○木 全 藤 造君(あ ま)	○水 野 茂 樹君(刈 谷)
	○加 藤 伊 三君(刈 谷)	
9月7日	○木 下 清 人君(駒 ケ 根)	
9月8日	○加藤伊八郎君(刈 谷)	○青 木 潤 二君(名古屋北)
9月14日	加 藤 鋼 一君(名古屋空港)	柴 田 春 雄君(名古屋空港)
	尾 立 鎮 茂君(名古屋空港)	

前年度受領証の受取りの方々のメダルは送付完了となつて
いると思いますので、次号からは○印はつけません。予てご案内
のとおり今年度は受領証日付でご芳名を掲載させて頂いていま
す。



3H運動寄付金報告

Contribution to 3H Movement

8月31日	佐 久R.C.	¥ 109,650
"	春日井 "	¥ 248,325
9月4日	田 原 "	¥ 187,050
"	飯 島 "	¥ 109,650
9月12日	木 曾 "	¥ 148,350
"	一 宮 "	¥ 290,250
"	豊橋南 "	¥ 209,625
9月13日	常 滑 "	¥ 430,000
9月17日	豊 橋 "	¥ 677,250

計 報 Obituary

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

9月4日	伊 東 惟 芳 殿(名古屋南)
9月11日	浅 井 五 郎 殿(一 宮 北)
9月18日	石 田 退 三 殿(刈 谷)

54年9月度 分區別会員数及び出席率

Attendance Report of September 1979

昭和54年9月30日現在

分 区	クラブ名	順 位	会 員 数	出 席 率	例 会 数	前 会 員 数	増 減
尾 張 第 一 分 区	半田	58	77	96.48	4	77	0
	東知多	53	42	97.02	4	42	0
	名古屋	61	219	96.00	4	219	0
	名古屋東	48	90	97.76	3	89	+1
	名古屋北	23	103	99.50	4	102	+1
	名古屋東	1	42	100.00	4	42	0
	名古屋南	31	116	99.08	4	116	0
	名古屋港	40	110	98.62	4	110	0
	名古屋守山	17	76	99.66	4	74	+2
	名古屋中	1	88	100.00	3	88	0
	名古屋西	36	134	98.85	4	134	0
	名古屋東南	26	79	99.37	4	79	0
	名古屋和合	1	64	100.00	4	63	+1
	東海	71	45	93.33	4	45	0
	常滑	38	58	98.69	4	58	0
15 C			1,343	98.29		1,338	+5
尾 張 第 二 分 区	あま	22	75	99.55	3	73	+2
	尾西	52	50	97.33	3	50	0
	宮一	35	90	98.87	4	90	0
	稲宮	27	74	99.32	4	75	-1
	北沢	23	51	99.50	4	50	+1
	山倉	1	70	100.00	4	70	0
	春日井	1	30	100.00	4	30	0
	小牧	1	77	100.00	4	77	0
	江南	59	55	96.30	4	55	0
	名古屋南	20	58	99.57	4	58	0
	名古屋空	41	63	98.33	3	63	0
	西春日井	34	69	98.89	4	70	-1
	尾張旭	1	46	100.00	4	46	0
	瀬戸北	32	70	98.93	4	70	0
	瀬戸島	44	38	98.03	4	37	+1
16 C			989	99.01		987	+2
三 河 第 一 分 区	渥美	77	49	86.74	4	48	+1
	蒲郡	45	72	98.01	4	71	+1
	奥三河	64	48	95.31	4	48	0
	新城	60	39	96.15	4	39	0
	豊原	46	59	97.81	4	58	+1
	豊橋北	15	106	99.74	4	106	0
	豊橋南	32	98	98.93	4	98	0
	豊橋南	25	65	99.48	3	65	0
	豊橋南	28	68	99.20	4	68	0
9 C			604	96.81		601	+3
三 河 第 二 分 区	安城	18	67	99.63	4	67	0
	城南	50	68	97.43	4	68	0
	刈谷	68	50	94.00	4	50	0
	刈谷	20	77	99.57	3	77	0
	西尾	62	72	95.77	4	74	-2
	岡崎	16	85	99.68	4	84	+1
	岡崎	39	56	98.64	4	55	+1
	岡崎	42	71	98.23	4	71	0
	高浜	72	47	93.20	4	47	0
	豊田	30	90	99.15	4	89	+1
	豊田	1	57	100.00	3	58	-1
11 C			740	97.75		740	0

分 区	クラブ名	順 位	会 員 数	出 席 率	例 会 数	前 会 員 数 月	増 減
東 北 信 分 区	軽井沢	1	35	100.00	3	35	0
	小丸	57	58	96.55	4	58	0
	南佐久	76	33	89.38	4	33	0
	長野野東	49	32	97.66	4	32	0
	長野野東	56	80	96.60	4	80	0
	中野	69	71	93.56	4	71	0
	佐久坂	67	51	94.21	4	51	0
	須坂	74	34	90.45	4	34	0
	戸倉上山田	(33)	(96.10)	(4)	(33)	0	
	上山田	79	43	84.30	4	43	0
	上山田	43	51	98.04	3	51	0
	上山田	1	39	100.00	4	39	0
12 C			527	94.61		527	0
南 信 第 一 分 区	富士見	78	30	85.00	4	30	0
	白馬	66	33	94.74	4	34	－ 1
	木曾	47	46	97.80	4	45	＋ 1
	松本	55	70	96.79	4	70	0
	松本南	1	83	100.00	3	83	0
	松本西南	51	48	97.40	4	48	0
	岡谷	75	63	90.27	4	63	0
	大町	54	63	96.80	4	62	＋ 1
	諏訪	70	58	93.48	4	58	0
	9 C			494	94.70		493
南 信 第 二 分 区	飯田	29	69	99.16	4	68	＋ 1
	飯田	1	70	100.00	4	70	0
	飯田	73	34	90.52	4	29	＋ 5
	伊那	36	66	98.85	4	66	0
	駒ヶ根	1	60	100.00	3	60	0
	松川	63	45	95.43	4	43	＋ 2
	箕輪	65	30	94.99	4	30	0
	辰野	1	46	100.00	4	46	0
8 C			420	97.37		412	＋ 8
総計	80クラブ		5,117	97.18		5,098	＋ 19



■スライド借し出しの件

3 H運動に関する今年度用のスライドセッ
ト2組がR.I.事務局から着きました。昨年度の
スライドが一部改訂されています。

ご使用ご希望の向きはガバナー事務所まで
お申し込み下さい。なお2組ですから、ご使
用済み次第すかさずご返却下さるようお願い
致します。